

# 令和 6年度予算見積調書

課室名: 文化資源課  
 担当名: 文化財活用・博物館担当  
 内線: 6912 (単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
N173	文化遺産調査活用事業		一般会計	教育費	社会教育費	文化財保護費	文化財調査費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例		針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	11
					分野施策	0802 地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsターゲット	11-4
1 事業の概要			5 事業説明					
埼玉の潜在的な歴史文化遺産を掘り起す学術調査を実施し、その成果を広く公開することによって、県民に埼玉の魅力を再発見してもらおう。市町村に対して、文化財の保存活用に関する総合的な地域計画を策定する支援を行う。			(1) 事業内容 ア 無形民俗文化財調査研究費 県内の無形民俗文化財を掘り起す調査を実施する 1,425千円 イ 自然遺産調査研究費 県内の自然系の文化財を掘り起す調査を実施する 597千円 ウ 地域の文化財保存活用の地域計画策定支援事業 市町村による文化財保存活用地域計画の策定を支援する 247千円					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(2) 事業計画 ア 無形民俗文化財のうち「巡り・廻りの民俗行事」についての調査を行い、保存活用のデータとする。 イ 自然系文化遺産のうち国指定名勝・天然記念物「長瀨」をテーマに調査を行い、保存活用のデータとする。 ウ 先行事例の調査を行い、市町村職員を対象とした研修会を開催する。					
3 地方財政措置の状況 普通交付税(その他教育費) (区分)その他教育費(細目)社会教育費 (細節)社会教育・文化財保護費(積算内容)文化財保護関係補助金等文化財の維持管理経費、旅費、備品購入費			(3) 事業効果 新たな文化遺産を掘り起こし、埼玉の歴史文化の魅力を広く発信することで、県民が文化財と触れ合う機会を増やし、県民としてのアイデンティティを醸成することができる。 市町村による文化財保存活用地域計画の策定を支援することで、地域社会総がかりの文化財の保存活用を推進し、ひいては、観光振興や地域振興につながることを期待できる。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.9人=8,550千円								
予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	2,269						2,269	△111
前年額	2,380						2,380	

## 事業内訳書

事業名	文化遺産調査活用事業		
単位事業名	無形民俗文化財調査研究費	予算額	1,425千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	1,425	△122	
合計	1,425	△122	

### ○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	16	0	県内撮影 2回 県内現地調査 2回
需用費	242	△28	消耗品、調査概報印刷代
役務費	25	△18	調査概報送付料
委託料	1,142	△76	映像記録制作
合計	1,425	△122	

単位事業名	自然遺産調査研究費	予算額	597千円
-------	-----------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	597	23	
合計	597	23	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	546	346	現地調査報償費 6人分 現地調査費用弁償 6人分
旅費	38	38	県内調査 40回
需用費	0	△290	
役務費	13	△71	資料運搬費、現地調査保険料
合計	597	23	

単位事業名	地域の文化財保存活用の地域計画策定支援事業	予算額	247千円
-------	-----------------------	-----	-------

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	247	△12	
合計	247	△12	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	43	△16	研修講師費用弁償 2人分 文化庁職員費用弁償 1回分
旅費	137	16	先行事例調査 1回分 文化財保存活用地域計画研修会 1回分
使用料及び賃借料	67	△12	会場借上げ料 3回分
合計	247	△12	